

萩

ネットワーク

148号 2019年7月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838-25-3178 FAX 0838-26-5458

MAIL hagi-network@city.hagi.lg.jp

須佐湾大花火大会 7月28日(日)

写真／HARA デザイン・原伸二郎

主な内容

古民家わいわい萩暮らし (前編)	P4・5
ズームアップ 守永江里さん (鎌倉市)	P6
元気企業 はぎ地域資産株式会社 (萩市)	P8
Zoom Up 深野和範さん (萩市)	P9

起業家支援センター、山口大学のサテライト研究室 浜崎地区に開所

5月8日、1階に山口大学生が萩市で行うワールドワーク活動の拠点となる「山口大学サテライトラボ」を、2階にシェアオフィスをなどを備え、起業家の支援を行う「萩市インキュベーションセンター」を開所しました。

これは、浜崎伝統的建造物群保存地区にあった旧山口銀行萩支店浜崎出張所を市が借り受け、改修したもので、浜崎地区で地元の方と起業家、大学生とのつながりなどによって、新たな発想や活力などが生まれる場所として期待されます。



なお、シェアオフィスは2室が入居され、1室について募集中(6月末現在)です。

■シェアオフィス概要

- 約8㎡半個室3室(専用鍵あり)
- 料金 月額1万円(光熱水費を含む)

※退去時の原状回復に係る経費は各自負担



■施設概要 鉄筋コンクリート造
2階建て 延床面積約200㎡
■総事業費 1856万円



シェアオフィス

萩市ビジネスチャレンジサポートセンター「HAB-BIZ(はぎビズ)」 来年1月開設予定

市内の中小企業や起業を志す人が抱える経営上のさまざまな課題の解決と、売上向上に向けた挑戦を事業者の目線に立ってワンストップかつ継続的に支援する伴走型の相談所として、「HAB-BIZ」を令和2年1月(予定)、萩市インキュベーションセンター内に開

設し、地域産業の活性化に全力でチャレンジしていきます。

■問い合わせ

萩市商工振興課

(0838・25・3108)

萩市企業誘致推進課

(0838・25・3810)

新総合福祉センター完成

萩市民の福祉の拠点として、7月16日開館

総合福祉センターの老朽化に伴い、①市民の交流、福祉のボランティア活動の場として、②福祉関係機関を集約したワンストップ窓口として、③被災時の本庁舎の代替施設として、市役所東側に整備しました。



ワンストップ窓口

■施設概要 鉄筋コンクリート造3階建て 延床面積4543.6㎡
■総事業費 約20億円



イージス・アショアへの対応

政府が導入を目指す地上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備計画について、5月28日、山口県庁で、防衛省から、イージス・アショアのむつみ演習場への配備を「適地」とする調査結果の説明があった。

6月3日、藤道市長は防衛省で原田防衛副大臣と面会し、次の3つの要請を行った。

①萩市として独自の検証を行うため検証作業が済むまでは、配備の最終判断など次の段階に進まないこと

②萩市議会全員協議会や住民説明会で、詳細かつ丁寧な住民の立場に寄り添った説明をすること

③各種調査終了後も引き続き、地域住民の声に対する窓口としてむつみ現地連絡所を維持すること

これらの要請に対し、原田防衛副大臣から「要望に対しては、しっかりと対応する」との回答を得た。

6月14日、防衛省からの説明内容の確認を進めるに当たり、不明な点やさらに説明を求めたい事項について、山口県知事と阿武町長との連名で防衛大臣に対して照会を行った。

また、6月15日、むつみコミュニティセンターで、16日、市民館で住民説明会が開催された。

発行回数 変更のお知らせ

日頃より「萩ネットワーク」のご購読をいただき、誠にありがとうございます。
 「萩ネットワーク」は10月の消費増税や、昨今の物流価格の急激なアップなど状況の変化に伴い、令和元年度から年6回の発行回数を見直し、年4回発行に変更することにいたしました。何卒ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

- 令和元年度発行 5月・7月・9月・1月
- 令和2年度発行 4月・7月・10月・1月（四季発行）

萩ネットワーク協会 会長 藤道 健二

ふるさとを大切にしたい、という気持ちを一つのかたち。
 昨年度は3402件、寄付金額8855万円

萩市では、萩を応援してくださる皆さまとともに、より魅力あるまちづくりを推進するため、「ふるさと寄付推進事業」に取り組んでいます。

離れていても、ふるさと萩を大切に思っておられる皆さまからのご支援・ご協力をお待ちしています。

選べる使い道は6つ

萩市へふるさと寄付を行うにあたり、次の6つの使い道から、あなたのまちづくりの考えに一番近いものをお選びいただけます。①萩市が未来に挑戦するための拠点整備プロジェクト（旧明倫小学校3号棟・4号棟の整備）、②萩市発展への投資、③未来を担う人を育むまちづくりへの投資、④魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくりへの投資、⑤子育ての幸せが実感できるまちづくりへの投資、⑥産業活力があふれるまちづくりへの投資以上の6つです。



手開きのどぐる2枚セット

整備、文化財保護・修繕等幅広く活用させていただきました。

お礼の品は約300種類 さまざま
 まな品をご用意しています

萩市外在住の方で1万円以上のご寄付をされた場合、感謝の気持ちとして、お礼の品をお選びいただけます。その数は約300種類。萩市特産のフルーツや魚介類、肉類をはじめ、萩焼や日本酒など、数多くの品をそろえています。

これからの季節のおすすめは、桃やぶどう、須佐男命いか（ケンサイイカ）など、旬のフルーツや魚介類です。

○平成30年度お礼の品人気ランキング（1位〜4位掲載）
 1位：手開きのどぐる2枚セット
 2位：萩焼 mint お茶碗ペア
 3位：東洋美人純米大吟醸「壱番纏」
 4位：見蘭牛切り落とし、見蘭牛もも焼肉用



見蘭牛もも焼肉用



萩焼 mint お茶碗ペア

寄付のお申込み・お支払い方法

○お申し込み方法
 萩市ふるさと寄付特設サイト、ふるさとチョイス、ふるなびからお申込みできます。また、郵送・FAX・メールでもお申込みいただけます。

○お支払い方法
 萩市ふるさと寄付特設サイト、ふるさとチョイス、ふるなびからお申込みの場合に限り、クレジットカード決済がご利用いただけます。そのほか、郵便振替、市指定口座への振込、窓口持参、現金書留によるお支払いも可能です。
 これからも萩市ふるさと寄付への変わらぬご支援を、よろしくお願いたします。

▽ふるさと寄付特設サイト



▽ふるさとチョイス

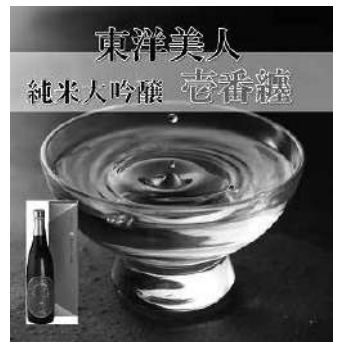


▽ふるなび



■問い合わせ 萩市企画政策課

(0838)253102



東洋美人純米大吟醸「壱番纏」

古民家わいわい



萩市中心部から緑豊かな川上地域へ移住

國本家

裕二さん、愛さん、
彩夏ちゃん

「御成道」と呼ばれる萩市中心部の道筋で、週末カフェバー「ハッコニブンノイチ」を経営する國本さんご夫婦。アーティストであるお二人の作品が築200年の古民家に融合し、独創性というパワーで街にスパイスを効かせている。

そんな暮らしから一転、2年前に川上地域へ家族の拠点を移した。「娘が生まれてから、自然豊かな環境への引っ越しを考えていました。街中には、自然の音など“美”や“情緒あるもの”が少ないねと夫婦で話し、娘が小学校へ上がるタイミングでここに来ました」と、愛さん。相談したのは、市の秋暮らし応援センター。空き家を見て回る中で、最初に見た、隣家と接しない開けた景色が魅力の物件に決めた。「この家は、どこを見ても窓が額縁みたいなんですよ」と、画家でもある裕二さんらしい着眼点。見ると、網戸の枠さえも木材。中二階があったり、広い脱衣場に作り付けの

◎暮らす前のイメージ

- ・以前はどんな人が住んでいた？
- ・今まで暮らした古民家と同じ？
- ・自然遊びが楽しめる

◎暮らし始めての実感

- ・毎日が別荘気分
- ・良い空気に満ちている
- ・小鳥のさえずりで目覚める



周辺散策をすると、緑の中で國本さんの立体作品たちが顔をのぞかせる

引き出し収納があったり、良質な木でこだわりの設計がうかがえる。母屋と納屋の隣には、前の住人と親しい人が建てた2階建てのログハウスがあり、こちらも庄巻。川上地域特産の丸太や樹皮を組み合わせたワイルド感と、裕二さんの作品がマッチするアトリエ兼ギャラリーになっている。

携帯電話の電波が入らないエリアだが、目の前をホテルが飛び、川のせせらぎや鳥のさえずりが感覚を癒し、山水を引いてお風呂を焚く。店がある街中で過ごす日もあがるが、徐々にこちらでの時間が多くなってきたそう。「最近、作家活動を再開し、好きなことを描けるようになった」と話す、愛さん。ここでの古民家暮らしが、何かしらのモチベーションにつながったのかもしれない。

前編

萩で暮らす場所とします。家族の時間を、古民家で豊かに過ごす出会いから住まいの話を伺いました。

ハッコニブンノイチ



住所 萩市西田町 24 TEL 0838・22・2427
営業時間 金・土曜 20:00～24:00

実は、お店も古民家！

國本さんご家族が移住前に暮らし、今は店舗営業も兼ねて2拠点生活をする築200年の古民家。寂しくなったこの通りを見て制作し始めた作品が、どこにもないアーティな雰囲気を出し、映画のような非日常感を味わえる。



彩夏ちゃんの絵。温もりのある古民家とも好相性



石田家

ゆまひろ
征夫さん、洋子さん、
えいと
美土ちゃん

◎暮らす前のイメージ

- ・DIYが楽しそう！
- ・ゆったりできそう
- ・ジブリ映画のような世界

◎暮らし始めての実感

- ・クリエイティブ
- ・防寒対策はしっかりと！
- ・手をかけると家が喜ぶ気がする

割りかけの薪、収穫した野菜がゴロゴロ入ったコンテナ、壁に飾られた子どもたちの絵。石田さんのお宅は、数年前に初めて田舎での古民家暮らしを始めたと思えないほど、ご家族の生活が馴染んでいる。住む人と家の馬がとても合っている、そんな印象だ。

石田さんとの家との出会いは、同じ大井地区に住む、洋子さんの伯母宅へ遊びに来ていた時。一目見て、『となりのトトロ』の世界みたい！と心奪われ、空き家になって消えてしまうことに寂しさを感じ、購入を即決。2011年に第1子が生まれて以来、都内やその後引っ越した鎌倉市での生活に窮屈感やストレスを感じる事が多く、東日本大震災の影響があったことから、地方移住を本気で検討していたタ

イミングでもあった。すぐに知り合いの紹介で浄化槽などを整え、リノベーションを開始。まずはトイレ改修と床板の張替えを行い、3年前に移住してからシステムキッチンと薪ストーブが加わった。住み始めたのは真冬だったため、古民家の寒さにビック

リ。「布団にもぐって寒

萩暮らし



木の窓枠とタイルが可愛い手洗い場。2つに分かれているので「片方で洗濯していたのかしら？」と推測を楽しんでいる

い。近所のおうちで薪ストーブの暖かさを実感し、満場一致で取り入れました。手入は大変だけど、煮炊きもできる洗濯物も乾くし、ドライフルーツも作れてたくさんのお恩恵がある。おすすです！と、洋子さん。昔の人はこういう風に暮らしていたのかなと思いをはせ、伝統的なものを素敵だと感じるたび、継いでいきたい気持ち

が募るそう。いろいろな人が遊びに来る家になればとの思いから、現在はご自宅で、中学生や訪日外国人の民泊受入家庭としても活躍。今後は未着手の蔵を自分たちでも手を加えながら、宿泊できる空間に改装予定。その様子や古民家暮らしを伝えられるよう、秋までにホームページやリトルプレス『つきはぎ』などで発信していくそうなので、楽しみに待ちたい。

■お問い合わせ

<https://tsugihagi.info>

空き家情報バンク

萩市内の空き家等を所有者の了解を得て登録し、ホームページに掲載。使用していない住宅を、UJIターン希望者の住まいとして活用しませんか？



萩暮らし応援センター

移住支援員と地域移住サポートが、移住の相談をお受けし、移住希望地区の方と連携。暮らしや仕事の状況に応じて、より良いサポートができるよう支援しています。



古民家に魅力を感じ、て選ぶ人が増えてい自然に囲まれた地域のす2組のファミリー。工夫まで、暮らしぶり

【お問い合わせ】

TEL 0838・25・3819 MAIL teijyu@city.hagi.lg.jp
URL <http://www.city.hagi.lg.jp/site/teijyu/>

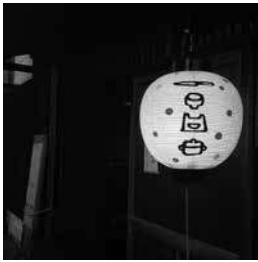
料理人 もりえり。
小料理屋「酒糸（しゅし）」店主

もりなが
守永 江里さん

（萩市江向出身、神奈川県鎌倉市在住、萩高校平成22年卒、27歳）



店内



店外観

萩シツク克服のために

鎌倉駅近くで、萩のお酒だけを扱った小料理屋をやっています。店内はカウンター6席のみで、1人で切り盛りしています。お店の名前は、鎌倉と萩がお酒を介して、目に見えない糸で繋がるように「酒糸」と名付けました。はじめは萩の場所も知らない方も多かったのに、今では私よりも萩のことを知っている常連さんもいます。

このお店は、萩のためにやっていると思われがちですが、そうではありません。萩を離れて、鎌倉へ来た始めのときに「萩シツク」になりました。でも萩に帰ると、こんどは鎌倉に戻りたくなったのです。鎌倉も萩もどつちも大好きなのに、どつちにいても悲しかったです。だから「鎌倉にいても萩を感じられる場所を自分で作っちゃおう!」と思つて、このお店を始めたのです。

料理の道へ進んだきっかけ

高校時代は、ごはんを食べることが怖かったです。母親が調理をしている、まな板と包丁が当たる音、お肉が焼ける音、それを聞くことさえも嫌でした。10代半ばから、摂食障害を患っていたのです。食べることがこわいという気持ち誰とも共有できず、とても孤独な青春時代でした。毎日、「いつ

か美味しくご飯を食べる日を迎えたい」と願っていました。

大学時代は、栄養学を学んでいましたが、年齢・性別・身長など数値化された情報で食べるものを決めることに違和感を覚えていました。ひとの食事の時間を少しでもいい時間にする仕事をしたいと思いました。それが私の中では、「料理人」という仕事だと思いました。誰に誘導されたわけでもなく、なりたいたい理想の人がいるわけでもなく、何もない道を突き進んで今まで来ました。自分の直感だけが道しるべでした。

料理の道に進んだきっかけは、もう一つあります。思春期の頃、父とコミュニケーションがうまく取れない時に、お弁当を作ってみました。父が出勤する前に、お弁当を持って置いておき、父はお弁当箱を持って帰る。空っぽだったり、嫌いなものが残っていたりしました。それだったらもつとこんな味付けにしてみようとか、私も工夫するようになって。会話は無いのに、いつの間にか、お弁当を介してコミュニケーションをとっているような気分になりました。言葉よりも料理の方が、私は気持ち伝えることができるのかもしれないと思い、料理を学ぶために調理師学校へ行きました。言葉を上手に操っていたら、料理人にはならなかったかもしれません。

自分にとっての萩

「酒糸」を始める前は、誰に会っても毎日必ず萩の話をしていました。私のふるさととはこんなにいいところなんだって話さずにはいられませんでした。でも言葉が苦手で、伝わる気がしなくて。でも料理を介して、お酒を介してなら少しずつ伝えられていると思います。今はとっても楽しいです。

どうして私にとって、そんなに萩が大切なのか、考えてみてもわかりません。いつかわかるような気もするし、いつまでも分からないような気がします。そんな話をお客さんと交しながら、今日も料理の仕事を続けています。

プロフィール

1991（平成3）年生まれ。
萩幼稚園、萩市立明倫小学校、萩西中学校、萩高等学校理科卒業。
ヨコスカ調理師専門学校卒業。
鎌倉市在住。鎌倉で萩のお酒を提供する小料理屋「酒糸」を営む。

「酒糸（しゅし）」

神奈川県鎌倉市大町1-6-23
（JR鎌倉駅から徒歩5分）
営業日時 月・火曜日のみ、16時
〜22時

お問合せ（メール）info@mrer-
sohan.com

菜々色マルシエ通信 「相島産馬鈴薯」

知る人ぞ知る名産品

萩・相島の名産といえば、スイカとサツマイモが有名ですが、隠れた名産品がもうひとつ。それが「相島産馬鈴薯」です。

離島ならではの日当たりの良い地形と水はけの良い火山性の土壌。対馬暖流がもたらす温暖な気候と海のミネラル。相島の気候は馬鈴薯にとっても最適な生育環境。多様な側面を持つ、萩の大地の豊かさを象徴する恵みのひとつです。

大地の香り「新じゃが」

相島産馬鈴薯、最大の特徴はその香り高さ。ゆつくりと火を通すときめ細やかな肉質がホクホクの食感に変化し、湯気とともに大地を思わせる豊かな香りが広がります。有名産地にも引けを取らない品質の高い馬鈴薯です。

しかし馬鈴薯のツルは風に弱く、ほぼ通年にわたり入荷するサツマイモ等の甘藷類に比べ、生産量は圧倒的に少量。それが「知る人ぞ知る」名産品たる理由です。馬鈴薯の入荷は春と秋の年2回。それぞれ数カ月ずつ、掘りたての「新じゃが」のみ入荷します。

塩かバターでシンプルに

おすすめの食べ方は、ゆでて塩かバターで。ポイントは香りを逃さずに調理すること。まずは丸のまま、皮ごとゆでてみましょう。ゆつくり時間をかけてゆでること、ホクホクの食感が最大限に引き出されます。

コロッケや肉じゃが、ポテトサラダ。いずれにしてもその存在感は抜群。古くから地元で愛され続ける名産品。萩のローカルブランド「相島産馬鈴薯」をぜひ一度お楽しみください。

道の駅萩往還

（0838・22・9889）
全国発送いたします。
WEB「道の駅萩往還」で検索



道の駅・萩しーまーと通信 旬の水産物「萩で親しまれてきた貝」

今回は、ニナとタカノツメと嫁の皿をご紹介します。

昔から沿岸部では、春から夏にかけて大潮のときなどに、ニナや嫁の皿などの貝が採れおかずになっていました。

萩の貝その1「ニナ」

主に夏ごろ店頭に並ぶ小型の巻貝です。萩では「ニナ」と呼んでいます。萩のニナは見た目がベージュに似て円錐の形をしたニシキウズガイ科で、オオコシダカガンガラという貝です。

この貝は見た目に由来して「尻高」として出回ることもあります。磯遊びで獲れる定番の貝で、比較的浅い場所に生息しています。

萩の貝その2「タカノツメ」

カメノテとも呼ばれます。形が鷹の爪や亀の手に似ていることからこの呼び名があります。フジツボに似た石灰質の殻を覆われていますが、塩ゆでし殻の中身を食べることができます。

スペインでは『ベルセベス』と呼ばれる高級食材となっています。これから9月頃にかけて店頭でよく見かけます。

萩の貝その3「嫁の皿」

萩ではヨメガカサのことを「嫁の皿」と呼んでいます。殻の大きさが3センチ〜8センチの笠の形をした巻貝の仲間です。引き潮のときに干上がった岩場にいますが、強くくっついていて手で取ることができません。金属のへらに似た専用の道具や鉤を使い、岩にくっついてる身をはがすように採取します。

これらを使った郷土料理が「ぐべ汁」です。元々は嫁の皿を使ったお汁でしたが、近年は貝の出回る量が少なくなってきたため、タカノツメやニナなどをまぜてお汁をつくっています。磯の香り豊かで萩らしい一品です。ニナやカメノテは塩ゆでにして簡単に食べることができますので、気軽にお楽しみいただけます。

道の駅 萩しーまーと

（0838・24・4937）
WEB「萩しーまーと」で検索



ニナ



ヨメノサラ



タカノツメ



ぐべ汁

シリーズ萩の元気な企業探訪

はぎ地域資産株式会社

小川 優子 さん (30歳)



新井達夫社長と小川優子さん



事務所 ukishima



萩仕立て鍋料理 いり吉



事業プラン発表会 ukishima-pitch

神奈川県鎌倉市でレストラン、ウェディング事業など展開する(株)Dnoteと萩市内の個人協力が足した「はぎ地域資産株式会社」(代表取締役社長・新井達夫氏)。

萩市の有形、無形および人的資産にあらためて光をあてることで、まさに新たな経済を起し、その魅力を関東圏および海外に発信することで、それらの地域と直接的に経済活動を行う仕組みを作ることを目的としています。

同社の創業メンバーであり、しゃぶしゃぶ料理店「いり吉」の運営、実現したい事業プランを発表するイベント「ウキシマ・ピッチ」の運営を担当する小川優子さんにお話を聞きました。

魅力あるまち

弊社の新井が「はぎ地域資産株式会社」とともに経営する(株)Dnoteは古い建物をリノベーションし、レストランやウェディング事業を展開している会社です。新井の古民家好きが高じて伝統的建造物が多い萩市とのご縁をいただいたのが5年前になります。

訪れてみると、その歴史ある町並みとともに素晴らしいと感じたのが住む人の人柄で、訪れる度にやる気もらえる町だと今でもよく口にしていきます。私自身も萩の魅力に、萩の人の人柄に心打たれて4年前、関西(奈良)から移住してきたインターン人です。そのような私が新井と出会うことのできたのも萩を盛り上げようとする若手経営者の方のお陰でした。

人材確保と人材育成 しゃぶしゃぶ料理店「いり吉」

昨年7月に設立し、まず着手したのが空きテナントでの飲食事業です。萩の地元優良食材をシンプ

ルに味わうことができ、イタリオンやフレンチのように料理人を多く必要としない、しゃぶしゃぶ料理店「いり吉」をオープン。この出店は人材確保のためと社長は言われます。現在私を含め4人のスタッフでお店を運営しています。「いり吉」を営業しながら、地域の方と触れ合いつつ、どうしたらもっと良いお店になるかをスタッフで考え、取り組んでいく。新井もスタッフの能動的な取り組みを温かく見守ってくれ、というか、成長することを期待して任せてくれています。

また、弊社では全てのスタッフに36歳までに、自分のやりたいことを見つけ、社内、社外を問わず自身で事業を立ち上げることが義務付けられており、「いり吉」の営業時間以外でも主体性をもってそれぞれが活動しています。

やりたいことを実現する

現在、私が「いり吉」以外で担っているのは、はぎ地域資産株式会社の事務所でもあるウキシマ(ukishima)の管理です。こちらは起業する人のためのスタートアップ支援のスペースであり、事業が軌道に乗るまでの間、事務所として事業スペース、郵便ポスト等を無償で貸し出すほか、やりたいことがある人が事業プランを

発表し、聞きに来た人が応援するイベント「ウキシマ・ピッチ(ukishima-pitch)」を定期的に開催する場所となっています。

この「u-pitch」を担当するにあたって、とても面白いところは、やりたいことがある人が強く思いを発することによって、不思議とその方に協力してくれる人が参加していたり、協力できる方を紹介してくださることです。また、何かが生まれようとする場所には人が集まるもので、過去4回の開催では、それまでなかった繋がりが広がってきています。

その他、既に動かししているプロジェクトやまだ計画段階のプロジェクト…、言い換えるなら「やりたいこと」が溢れていますので、創業スタッフとして「やりたいこと」をやり続ける力を培い、このパワーを萩内外に拡げていき、更に萩の魅力を高めていきたいと思っています。

■はぎ地域資産株式会社
萩市東浜崎町4番地6
■萩仕立て鍋料理 いり吉
萩市椿東新川南3039
(0838・211・5210)
営業時間 ランチ11時30分～15時
/ディナー18時～22時
店休日 月曜日、第1・3・5日曜
日
WEBサイト <https://hagiric.com/>

萩へUターン、起業した36歳の料理人

ふかの かずのり
深野 和範 さん

2018年に自ら改造した調理設備付きのキッチンカー「Puente」で、萩の食材を使った料理の移動販売を始めた深野さんってどんな人？



萩を出てからUターンするまで

深野さんは萩生まれ萩育ち。姉が二人いる。中学生の頃、「味いちもんめ」「ミスター味っ子」などのドラマやアニメを観て、料理の世界に興味を持ち、高校卒業後は山口市の調理専門学校へ。その後、神奈川県や宇部市の小料理屋やイタリアンレストランで働いた。

けれど、生まれ故郷の萩で「食」に関わる仕事をしたいと思っていても子どもが生まれたら、萩で育てたい。そろそろ戻ろうと思っていて2015年、たまたま萩市で地域おこし協力隊を募集していたので応募し、萩に戻ることになった。

地域おこし協力隊となり結婚

地域おこし協力隊となってから、萩の食材を活かした商品開発やイベント出店を経験し、現在のキッチンカー「Puente」の活動につながっている。萩の酒蔵でできる酒粕を活用した「萩SAKEKASU5」や萩のフルーツを使った「萩ジャム」開発などに携わった。料理だけでなく、商品パッケージやイベントのチラシデザインを担当することも。

2017年3月に地域おこし協力隊の同期と結婚。同年4月から萩市高校生女子寮の管理人を夫婦で担うことになった。寮に下宿する高校生たちの朝食にお弁当、夕食作りも行うなど大忙しの毎日だ。

キッチンカー「Puente」ができるまで

寮を管理しながらも、多くの人に萩の食材を味わってほしいという思いから、地域おこし協力隊の起業支援補助金を活用し、キッチンカーでの移動販売を始めることにした。

2018年8月に中古車のデリバリーを買って、9月にイベント出店するため、1カ月間、ほぼ毎日、自己流で改造をし、なんとか設備を整えることができた。

その後改良しながら、萩ふるさとまつり、ルネッサながとアートマーケットまつりや萩・夏みかんまつりなどに出店を続けている。

「Puente」の料理は、イタリアン、フレンチを軸にアジアンテイストも取り入れた創作料理。野菜を多く使い、萩近辺ではなかなか食べられないものを提供している。イベントでは多くの出店者のメニューで肉料理や揚げ物が多くなりがちなので、野菜を食べられるようにとの心配りだ。



今年パパになりました

萩ファーマーズマーケットで、ちよつと変わった野菜があれば試してみよう。生産者の心意気が伝わる、豊かな萩の食材の食べ方を提案したいと思っている。

これから挑戦したいこと

深野さんのキッチンカーでの移動販売は、あくまでステップ。今後の目標は、一般家庭の食卓に彩りを加えるドレッシングやソースなどの調味料の製造販売だ。地元の人だけでなく、観光客も含めたもっと多くの人たちに萩の食材を知ってもらうためだ。

深野さんの挑戦は、これからも続く。



深野さんの料理とデザインしたチラシ

お問い合わせ

0800-42691-6666

fukano23@gmail.com

FB <https://facebook.com/23.seacolor.kf>

萩の産業遺産を歩く (十) 硝子製造所跡

道迫真吾 (萩博物館総括学芸員)

ひっそり建つ「南園趾」の石碑

山口県萩自動車学校(萩市江向)に「南園趾」という石碑があるのをご存じであろうか。八丁(八町)と呼ばれる道路に面して建てられているものの、碑の前に金網が張られているため、大半の方が見過ごしているのではないかと思う。かつてこの場所に、藩主別邸「南園御茶屋」があり、幕末には硝子製造所が置かれた。現在、運転免許を取得するため、萩地域の大多数の方が通うこの土地の歴史を追ってみよう。

南園(南苑)の変遷

七代藩主毛利重就は、明和三年(二七六六)六月、小幡五郎左衛門の屋敷を購入、抱地とし、菜園屋敷と称した。明和五年二月には南園御茶屋と改称した。明治時代に八丁御殿と改められ、大正元年(一九二二)に萩町へ譲渡された(時山弥八『増補訂正もりのしづり』)。

なお城下町絵図を見ると、「南園」よりも「南苑」と書かれた例が多く、どちらで表記してもかわない。

さて、南園はさまざまに土地利用が図られたことで、非常に興味をそそられる場所である。重就治世下の明和年間には絹織所が設けられ、十代斉熙の文化十四年(二八一七)、二百坪の土地に薬草が植えられた。

十三代敬親の天保十一年(二八四〇)九月、南園内の建物を利用して医学稽古場が開設された。医学稽古場は、嘉永二年(二八四九)に開校した新明倫館(江向)の敷地内に新築・移転し

済生堂と命名されたが、土地・建物が狭いことを理由に、翌年六月、再び南園に移され、好生館と改称された(のちに好生堂)。同時に南園内の花壇を利用して薬草園(百草園)が設けられた。安政三年(一八五六)十一月には製薬所が設置され、土屋養哲を主任として西洋式の薬品の調製が試みられた。

また、この間の安政二年九月、好生館の付属機関として西洋学所が設置され、これがのちに西洋兵学の研究・教育機関として発展、安政六年(一八五九)博習堂と改称された(『萩市史第一・三巻』『山口県の地名』『山口県教育史』)。

硝子製造所の設置

幕末の長州藩でガラス製造に携わった人物として、中島治平の名を聞かれた方は多いであろう。治平は安政三年(一八五六)から安政六年まで長崎に遊学し、本来の目的である朝鮮語・オランダ語・英語を修得するかたわら、分析術を中心に、製鉄・冶金・蒸気機関・写真術・パン製造・染色その他、あらゆる西洋の知識と技術を学び、萩に持ち帰った。その一つがガラス製造であった。

治平は、製鉄や分析術の必要について、何度も藩に対して建白した。そのうち、万延元年(一八六〇)六月に提出した建白書では、鉄工

局の開設と分析術の利用について意見した。このうち、分析術の利用が藩に認められ、八月、治平は南園内に開設された硝子製造所の見合役に任命され、江戸や大坂から硝子職人が萩に招かれた。藩主敬親は文久元年(一八六〇)八月、ここで造られたガラス器を朝廷に献上している。

幻と化した幕末萩のガラス産業

治平は分析術の振興を目指していたが、現実には思惑通りに展開しなかった。というのは、藩は文久元年九月、物産方が力を入れたガラス製造のみに事業を縮小したからである。つまりこの時点での長州藩は、分析術という純粋な基礎科学の振興のためのガラス器具製造よりも、贈答・販売用のガラス器生産に力を入れたのである。ために、治平の念願であった舎密局(理化学研究所)の開設は、慶応二年(一八六六)二月まで待たされることとなった。

しかしながら不運にも、慶応二年四月、硝子製造所が焼失、治平は過労がたたたり、十二月に四十四歳の若さで没した(小川亜弥子「中嶋治平」)。長州藩におけるガラスの産業化は、幕末に一時的に試行錯誤されたまま断絶し、幻と化したのだ。

なお南園ではそのほか、文久元

年(一八六一)八月、山本伝兵衛を主任として写真術も試みられている。

以上から、かつて長州藩は南園と称された場所で、医学・製薬・兵学・ガラス製造・写真術など、近代諸科学につながるさまざまな実験を試みていたことがわかる。幕末の萩城下で、当時最先端の洋学を研究・教育する拠点となっていたのだ。

こうした土地利用は、規模的には萩が劣るとはいえ、薩摩藩の集成館を想起させる。集成館は、藩主島津家の磯別邸に付属する庭園「仙巖園」の土地を利用し、反射炉をはじめ、製鉄用の洋式高炉、硝子製造所などが設置された。また理工学研究・教育機関であった。また佐賀藩でも、精煉方と称する理化学研究機関を設置していた。これらの藩における基礎科学の試行錯誤は、明治以降の急速な近代化を下支えしたのである。

なお、明治以降の南園について見ておくと、九代徳山藩主毛利元蕃の夫人貞松院(八重姫)は、夫の死後、八丁御殿で余生を送り、明治三十三年(一九〇〇)に没した。その後、阿武郡立実科高等女学校が創建され、山口県立萩高等女学校と改称された(のちに山口県立萩高等学校に統合)。昭和三十三年(一九六二)十月、萩自動車学校が開校し、今日に至る。

南園趾碑



中島治平旧蔵の
ガラス器具
(萩博物館保管)

阿武町だより

「発祥の地」に新しい風 道の駅の新支配人

田中満介さん

「まちの玄関口」に位置付けられる道の駅阿武町の新支配人に、4月1日、木与の田中満介さん（61歳）が着任しました。県漁協の奈古支店長・はぎ統括支店総務指導部長などの経歴をもつ田中さん。長年、水産業の振興に携わってきた手腕が期待されます。

めざすは「人を呼ぶ道の駅」

これからの新展開について、「キーワードは『人を呼ぶこと』。道の駅阿武町には、魚も野菜も素晴らしいモノが揃っているが、目を向けてもらう『仕掛け』が足り



新たに着任の田中満介支配人

ない」と語る田中支配人。今後は、集客につなげるイベントを積極的に打ち出したいと意気込みを示しました。

道の駅阿武町は、この春で、平成26年のリニューアルオープンから、ちょうど5周年を迎え、記念日の4月21日には「感謝祭」も開催されました。

さつそくの晴れ舞台にあわせて、道の駅では、地元的女性による「つばきジャム あぶれーぬ」や、「鳴き砂の『塩』ソフトクリーム」といった新商品の開発も行われ、ま



道の駅 阿武町

萩・明倫学舎通信

あなたも松下村塾の塾生に!?

幕末維新VR設置

萩・明倫学舎2号館には、世界遺産ビジターセンターがあります。先日その一角、長州ファイブを紹介するコーナーに「幕末維新VR」が設置されました。

最新のVR映像により、幕末維新の名シーン（松下村塾での講義、功山寺拳兵、長州ファイブの語り）を体感することができます。ということ、半ば薄ら笑いでVR初体験した筆者ですが、想像していた以上に繊細な映像と大迫力に感激しました。各シーンの臨場感溢れる内容に、実際に自分もその場にいるような感覚となり、思わず胸が熱くなります。

ぜひ萩・明倫学舎を訪れた際はお試ください（入館料と別途100円必要です）。



幕末維新VR

※7歳未満のお子様は体験できません。その他注意事項がありますのでホームページ等でご確認の上、体験ください。

夏のイベント

昨年に引き続き、小学生を対象とした「ぞうきんがけレース」を今年も7月20日（土）に開催します。今回は、2人1組のペアで特製ぞうきんを使用し、廊下を駆け抜けます！

その他にも、8月には「萩・明倫学舎サマースクール」と題して、ラジオ作り教室や3D工作などの4つのプログラムを企画しています。小学生とともに、暑い夏を過ごしていきます！詳しくはホームページで。

■NPO萩明倫学舎
(0838・21・0304)



2人1組のぞうきんがけレース

萩博物館特別展

「危険生物大迷宮」

（7月1日）

関連イベント

□危険生物大迷宮

ナイトミュージアム

夜独特の雰囲気の中、懐中電灯を使って自由観覧。昼間と同じ料金。

8月10日（土）・11日（日）・12日（月）祝 18時～21時

□トワイライトミュージアム

お盆の3日間限定で、午後7時まで開館時間を延長します。

8月13日（火）・14日（水）・15日（木）

□ディーゼル列車で行く！海の危険生物ウォッチングツアーin萩

山陰本線の列車で海の絶景を楽しみながら江崎へ。定置網に入ったサメやオコゼなど地元のナマの危険生物にタッチ・観察・撮影。

8月9日（金）・18日（日）10時頃～17時頃、東萩駅～江崎駅周辺。定員各45人。

詳しくは萩博物館サイトへ。

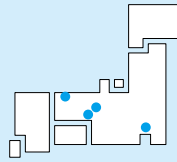
□夏の星空観望会スペシャル

この夏、最も輝かしく見える月・木星・土星などを5夜連続で観望します。

8月8日（木）～12日（月）祝 19時～21時

■萩博物館

(0838・25・6447)



萩高15期(昭和38年卒)同期会



萩での開催は7年ぶりとあって、遠くは岩手県二戸市や茨城県水戸市からの参加もあり、総勢98名でした。萩を離れて57年目。物故者も60名を超えています。全員黙祷のあと懇親会に入り、久しぶりにお互いの近況報告会となりました。二次会は2軒のスナックを貸し切り。それから3次会、4次会

と夜中まで飲み続けた酒豪の仲間もいました。

翌日は気の合った仲間同志で市内観光や、近辺の小旅行をしました。今年からいよいよ後期高齢者の仲間入りとはいえ、まだまだ元気に気分は青春を謳歌しています。

世話人 恩村逸生、野村興兒 (萩市)

■萩市・阿武町内高校卒業生の進路状況

学校名	卒業 者数	大学		就職		専修学校ほか	
		全体	うち萩市	全体	うち萩市	全体	うち萩市
萩商工高校	123人	11人	0人	89人	17人	23人	2人
萩高校	123人	105人	1人	6人	3人	12人	2人
萩高校奈古分校	21人	3人	1人	10人	7人	8人	0人
萩光塩学院高校	35人	17人	2人	5人	2人	13人	0人
合計	302人	136人	4人	110人	29人	56人	4人

今年3月に卒業した萩市と阿武町の高校の卒業生は302人で、そのうち萩市内に残ったのは、就職29人、大学4人、専修学校など4人の合計37人で卒業生の12%でした。9割弱の若者が、市外・県外へ進学・就職しました。

**萩・阿武の高校卒業生
302人のうち、萩に残るのは12%**

■萩商工高校

卒業生123人のうち、就職が89人(72%)、進学は11人(9%)。都市部の好景気の影響を受け、求人数は前年度比約1.2倍の約1500人。昨年に引き続き、大手ゼネコン「安藤・間」や山口銀行などに就職。山口県内の就職は6割(昨年は5割)。萩市に残るのは就職・進学合わせて19人(15%)。

■萩高校

卒業生(現役)123人のうち、105人(85%)が大学進学。専修学校などの進学が5人、就職4人。合格者の内訳は、国立大学が22人、公立大学が18人、私立大学が101人(重複あり)。長門市出身の浪人生(昨年卒業生)は京都大学に合格。山口大学には例年並みの16人が合格。萩市に残るのは6人(5%)。

■萩高校奈古分校

卒業生21人のうち11人が進学、10人が就職。萩市・阿武町に残るのは就職・進学合わせて4人。

■萩光塩学院

卒業生35人のうち、大学進学は17人(49%)、専修学校など進学が13人、就職は5人。昨年に比べ進学希望者が増加。地元の至誠館大学に2人が合格。萩市に残るのは就職・進学合わせて4人(11%)。

萩焼・三輪窯

弟和彦が十三代休雪を襲名

萩焼の代表的窯元、三輪窯の十二代休雪（本名・龍作）さん（椿東、78歳）の弟、和彦さん（椿東、67歳）が、5月15日、十三代休雪を襲名した。十二代休雪は、陶号を「龍氣生（りゅうきしょう）」に改名し作陶を続ける。

十二代休雪改め龍氣生さんは、十一代だった人間国宝の壽雪さん（2012年死去）の長男で03年4月に十二代を襲名。生や死などを表現した前衛的な作品で知られ、萩陶芸家協会会長を務めている。

十三代を襲名した和彦さんは、壽雪さんの三男。萩高校を1971年卒業後、米国サンフランシスコの美術学校に5年間留学し、84年に本格的に作家活動を始めた。巨大で斬新なオブジェを手がけ、現在は十代（休和）が開発した釉薬「休雪白」を生かした茶陶を中心に制作している。

和彦さんは「休雪は三輪家にとって象徴的な名前。引き継ぐことは身の引き締まる思い」と話した。

龍氣生さんは「代替わりはずっと考えていたが、自分が元氣な時

に引き継ぎたいと考え、改元の機会に実施した。引退はしない。龍の気配でもって、今まで以上に生きていきたい」と語った。



十三代三輪休雪を襲名した和彦さん（右）と陶号を龍氣生に改めた十二代休雪さん（撮影／下瀬信雄）



三輪龍氣生「白雲現龍氣」（1995年）
201[㍉]×770[㍉]×320[㍉]
山口県立萩美術館・浦上記念館蔵



十三代三輪休雪「エル キャピタン」（2019年）
（撮影／マキタオモリツグ）

十三代休雪は襲名記念展として、9月から東京、京都（10月）、大阪（10月）、名古屋（10～11月）で「雪嶺」と題した新シリーズを発表する。山口県立萩美術館・浦上記念館では「恒久破壊」展として、7月～11月にこれまでの陶造形を展示する。

地域の皆様とともに

 萩山口信用金庫

<http://www.shinkin.co.jp/hagiyamaguchi/>

萩支店：萩市大字唐樋町3番地3
☎ 0838-22-3111

浜崎支店：萩市大字浜崎町253番地2
☎ 0838-22-0197

越ヶ浜支店：萩市大字椿東6392番地1
☎ 0838-25-0321

奈古支店：阿武郡阿武町奈古2311番地の13
☎ 08388-2-3028

新川支店：萩市大字椿東3072番地12
☎ 0838-22-0608

松本支店：萩市大字椿東2511番地3
☎ 0838-22-3113

橋本支店：萩市大字橋本町74番地
☎ 0838-22-3141

情報アラカルト

関東地区

ふるさと萩・小川会

田万川地域小川出身者の関東地区同郷会。

10月6日(日) 正午～午後3時
東京都品川区大崎1・6・2
ニューオータニイン東京

(JR大崎駅東口から徒歩2分)
(090・9673・2296) 佐伯

柳井嗣雄展「発掘」

萩市出身の美術家、和紙造形。「遺物」立体20点(世紀末版)と平面20点(平成版)を同時展示。

8月22日(木)～9月15日(日)
木曜日～日曜日の13時～18時
東京都国立市東4・21・10
宇フォーラム美術館

(042・580・1557)

「十三代三輪休雪襲名記念展」

十三代休雪を襲名した三輪和彦の個展。

9月18日(水)～24日(火)
東京都中央区日本橋2・4・1
日本橋高島屋 美術画廊

(03・3211・4111)

「君子勿素餐 HAGI陶五人展」

岡田泰、坂悠太、渋谷英一、田原崇雄、坂倉正紘の展示販売。

9月18日(水)～24日(火)
東京都中央区日本橋室町1・4・1

日本橋三越本店 本館6階アートスクエア
(03・3241・3311)

九州地区の萩高同窓会。
9月8日(日) 正午～

関西地区

「萩焼 岡田裕・泰 父子展」

岡田裕・泰の展示販売。
7月31日(水)～8月6日(火)
大阪市中央区難波5・1・5
高島屋大阪店 6階美術画廊

(06・6631・1101)

中国地区

つばき会広島支部

広島地区の萩商工同窓会。
7月13日(土) 午後6時30分～
広島市南区金屋町1・17
ワークピア広島(旧広島労働会館)

(080・6332・1159)

広島指月会

広島地区の萩高同窓会。
7月20日(土) 午後3時～
広島市南区的場町1・1・25
ホテルセンチュリー21広島
(広島駅から徒歩3分)

(090・4659・2164) 北東

九州地区

九州指月会

九州地区の萩高同窓会。
9月8日(日) 正午～

福岡市博多区博多駅(筑紫口すぐ)オリエンタルホテル福岡 博多ステーション(旧ホテルセントラーザ博多)
(093・201・6303) 廣瀬

山口県関係

山口県立美術館開館40周年記念「下瀬信雄・天地結界」展

「結界」シリーズを中心に、初期の作品から近年のカラー写真まで、写真家・下瀬信雄のこれまでの歩みをたどる。
7月7日(日) まで
観覧料 一般1200円、70歳以上・学生1000円、18歳以下無料
山口市亀山町3・1
山口県立美術館
(083・925・7788)

萩市関係

萩高同窓会八八会

萩高指月会の本部総会。今年の引受期は56期(平成16年卒)。
8月8日(木) 午後7時～9時
萩高校体育館
(0838・22・0076) 萩高

萩光塩学院同窓会本部総会

萩光塩学院小中高の合同総会。
8月10日(土) 午後6時30分～
萩市土原608・53
萩の宿 常茂恵
(0838・22・0782) 光塩

須佐男命いか直売市

漁師が直接活かしたままのケンサキイカを販売する夏の恒例イベント。
7月7日(日)～9月29日(日)
毎週土・日曜日(7月27・28日、8月17・18日は休み)
午前9時30分～11時30分(売切れ次第終了) 須佐漁港
問い合わせ 山口県漁協須佐支店
(08387・6・2311)

萩の瀬つきあじ祭り

瀬つきあじの水揚げ即売、握り寿司無料試食(500カン限定)、一夜干し無料試食(先着300人)、水産加工品など特産品販売他
7月7日(日) 10時～14時
山口県漁協萩地方卸売市場・道の駅萩しーまーと
(0838・24・4937)

久原房之助生誕150年記念講演会

講演「久原翁と日立鉦山・日産コンツェルン」、「久原翁の萩・山口県への教育・経済の貢献」など、シンポジウム「久原房之助の生涯、産業的功績、萩市・山口県への貢献など」
7月12日(金) 午後2時～5時
萩市椿東1537
松陰神社立志殿
申込 萩市観光協会
(0838・25・1750)

「恒久破壊―十三代三輪休雪(三輪和彦)の陶造形」展

十三代休雪を襲名した三輪和彦のスケールの大きな陶の造形作品の展示。
7月13日(土)～11月17日(日)
萩市平安古586・1
山口県立萩美術館・浦上記念館
陶芸館展示室

表紙

須佐湾大花火大会

三方を山々に囲まれた須佐湾内に響く音は迫力満点。音楽花火や創作花火など約4000発が打ち上げられます。
きただにひろし、奥井雅美によるアニソンプライヴもあります。
7月28日(日) 午後8時～9時 須佐漁港
*荒天時は29日(月)に順延。
須佐湾大花火大会実行委員会
(08387・6・2219)



*ご寄付のお願い

萩市内外の企業・事業所・団体などからの寄付を募集しています。周年記念、祝い事などお祝いや記念を花火にしてみませんか。1口1万円からで、5口以上はメッセージを紹介します。申し込みは7月12日までに実行委員会(須佐総合事務所内)へ。

明倫館創建300年記念

■全国藩校サミット萩大会

旧萩藩校明倫館創建300年の節目を記念して、全国各地の藩校関係者が一堂に集まる「全国藩校サミット萩大会」が開催される。山口県では初開催。

11月30日(土)～12月1日(日)

11月30日は萩市民館で、記念講演(本郷和人・東京大学史料編纂所教授)、各藩の紹介、子どもたちによる萩を代表する文化活動の披露など。12月1日は関係者による萩市内視察。

関連行事として、藩政時代の槍剣場「有備館」を会場に剣道大会、論語教室や朗唱教室などを予定。実行委員会会長は毛利家当主・毛利元敦さん

(問) 萩市萩・明倫学会推進課
(08388・255・3569)

■萩博物館特別展「長州藩校明倫館・武士たちの学び舎」

享保4年(1719)に開校した藩校明倫館は、嘉永2年(1849)の移転・拡充を経て、明治初期まで存続した。

11月9日(土)～20年1月5日(日)
(問) 萩博物館
(08388・255・6447)

(08388・242・400)

■熊谷美術館 熊谷五右衛門生誕300年記念特別展「伝統から現代、未来へ」

熊谷家と交流のあった坂高麗左衛門歴代と萩焼の未来を担う陶芸家の作品を展示。画家・雪舟とミラノで活躍する現代抽象画家・山本浩一の対比により、未来の美のあり方を志向する。

9月1日(日)～11月24日(日)

萩市今魚店町47
熊谷美術館・熊谷家住宅
(08388・222・7547)

テレビ・ラジオ

■「開運なんでも鑑定団」出張！なんでも鑑定団in萩

放送日 7月6日(土) 正午～、放送局 KRY山口放送
放送日 7月25日(木) 午後7時55分～
放送局 BSテレビ東京
(問) 萩・明倫学会推進課
(08388・255・3569)

■歌謡曲「萩しぐれ」

歌手・原田悠里(ゆり)さんが

新規(再)加入会員

藤本美登里 (大阪府吹田市)
玉井博文 (大阪府大阪市)
神藤竜侍 (大阪府高石市)
村上みゆき (大阪府枚方市)
伊勢嶋勇 (大阪府寝屋川市)
(4月21日～6月20日) 5人

今年4月にリリース。歌詞に指月山、夏みかん、鍵曲、藍場川など萩にゆかりのある言葉が盛り込まれている。

原田悠里さんは熊本県出身の演歌歌手、代表曲に「木曾路の女」、「津軽の花」など。作詞は伊藤美和さん、母親が萩市越ヶ浜出身。

募集

■維新の里 萩城下町マラソン

第20回となる記念大会が、12月8日(日)に開かれる。発着点は萩ウェルネスパーク(萩市権)、世界文化遺産の町並みを走る。ゲストラランナーは箱根駅伝等で活躍し、ベルリン世界陸上日本代表の上野裕一郎さん。ハーフマラソン(25000人、高校生以上)、5キロ(中学生以上)などを募集する。

専用振込用紙での参加申込は7月10日～31日。大会ホームページでは8月31日まで受付。先着順。参加料は一般4000円。
問い合わせ 萩市スポーツ振興課
(08388・255・7311)

■萩市ふるさとワーキングホリデー参加者

大学の夏休み等を利用して、2週間から1カ月程度、田舎を丸ごと体験してみませんか？
受入期間/6月1日(土)～9月30日(日)
応募資格/山口県外に在住の方
受入企業/岸田商会、太陽コミュ

ニケーションズ、増丸園芸、ミノリファーム、農事組合法人日の出農事組合法人厳島の恵、井上商店
参加申込/8月30日までに、専用Webサイトから(やまぐちふるさとワーキングホリデー、ふるさとワーキングホリデーポータルサイト)

■お試し暮らし住宅の利用開始

浜崎地区にある伝統的建造物に特定されている「梅屋七兵衛旧宅」を一部改修し、移住希望者等が萩市での生活を体験するための「お試し暮らし住宅」として整備し、7月から利用開始となりました。

利用対象者/萩市への移住・地域間交流・二地域居住等を検討している者、萩市内でサテライトオフィスの開設を検討している者(その他要件あり)
所在地/萩市浜崎町257
間取り/3DK
利用期間/1週間～4週間
家賃等/1週間1組7000円、1泊追加ごとに1000円加算



梅屋七兵衛旧宅

お知らせ

■萩・日本海大花火大会

萩夏まつりの初日に行われ、約7000発の花火が日本海をバックに萩の夜空に咲き乱れます。
8月1日(木) 午後8時～9時
菊ヶ浜・萩商港周辺
*荒天時は4日(日)に延期。
萩商工会議所
(08388・255・3333)

編集後記

陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備計画をめぐり、防衛省は5月28日、適地調査の結果、「むつみ演習場において安全に配備・運用できる」と山口県・萩市・阿武町に伝えた。大前提としていた地元への理解はないうままに、適地と判断した。

また、「調査結果のみを持って建設工事を強硬に進めたり、配備先を決定するものではない。調査結果を説明し、地元への理解を得た上で進めたい」とも話し、6月14日～17日には萩市・阿武町で住民説明会が行われた。
米国の軍需産業に操られる安保体制の行く末を見届けなくてはならない、と思う。
(広報特別参与 山本章三)

ふるさと情報紙「萩ネットワーク」

萩ネットワーク協会 ☎0838・25・3178

全国のネットワーク会員に、年4回、郵送
令和元年度発行 5・7・9・1月号
(1994年10月創刊)
会費 一般2,000円、特別賛助10,000円
会員数 1,557人(2019年3月末現在)

イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

- 7月13日(土)~8月23日(金) 9:00~17:00
◇むつみ昆虫王国オープン むつみ昆虫王国
- 7月27日(土) 20:00~
◇なご夏まつり花火大会 奈古漁港周辺
- 7月28日(日) 20:00~21:00
◇須佐湾大花火大会 須佐漁港
- 7月28日(日) 10:00~15:00
◇ひまわりロードフェスタ ひまわりロード(むつみ)
- 8月1日(月)~3日(水)
◇萩夏まつり 住吉神社・吉田町ほか
- 8月1日(月) 20:00~21:00
◇萩・日本海大花火大会 萩商港、菊ヶ浜周辺
- 8月13日(水) 19:30~22:00
◇萩・万灯会(迎え火) 大照院
- 8月25日(日) 17:00~21:00
◇たまがわ夏まつり 萩市江崎漁港 弁天公園周辺

トワイライトエクスプレス瑞風

萩への立ち寄り観光スケジュール

7月21日・28日、8月25日、9月15日・29日
いずれも日曜日
8:40 東萩駅到着 / 12:08 萩駅出発(予定)

瑞風2周年記念イベントの様子(6月23日)



園児による太鼓演奏で歓迎



萩・日本海大花火大会の「有料観覧席」
500円(小学生以上)
詳しくは夏まつりホームページへ



むつみひまわりロード
写真コンテスト2018 受賞作品



最優秀賞「夏空 さやか」 田原晏生



優秀賞「むつみヒマワリ 友達の輪」 野間幹雄



自転車で萩を楽しみませんか
「サイクリングマップ」が完成!

山口県立萩美術館・浦上記念館だより ☎0838・24・2400

「The 備前—土と炎から生まれる造形美—」

7月13日(土)~9月1日(日)

備前焼は釉薬を施さず、土と炎の造形から生まれるシンプルで原始的なやきものとして、古くから日本人に愛されてきました。

古備前の名品から、近代の作家、現代の備前を確立しようとする若手の作品まで、幅広く紹介します。

■観覧料 一般1000円、70歳以上の方・学生800円、18歳以下は無料

■休館日 7月22日(月)、8月5日(月)、8月19日(月)



萩博物館だより ☎0838・25・6447

特別展「危険生物大迷宮」

6月29日(土)~9月1日(日)

萩および日本や世界の猛獣・毒蛇・蜂などに人に危害を及ぼしうる「危険生物」の剥製・標本・写真など約200点を、親子が親しみやすい「迷宮」を模した会場に展示します。

レオポン(ハイブリッド猛獣)、ウルバリン(恐れを知らぬ攻撃獣)、オオアナコンダ(世界最大級の怪力ヘビ)など。

■観覧料 大人 510円、高・大学生 310円、小・中学生 100円
■休館日 会期中なし

